

## 第6章

# 貸借対照表

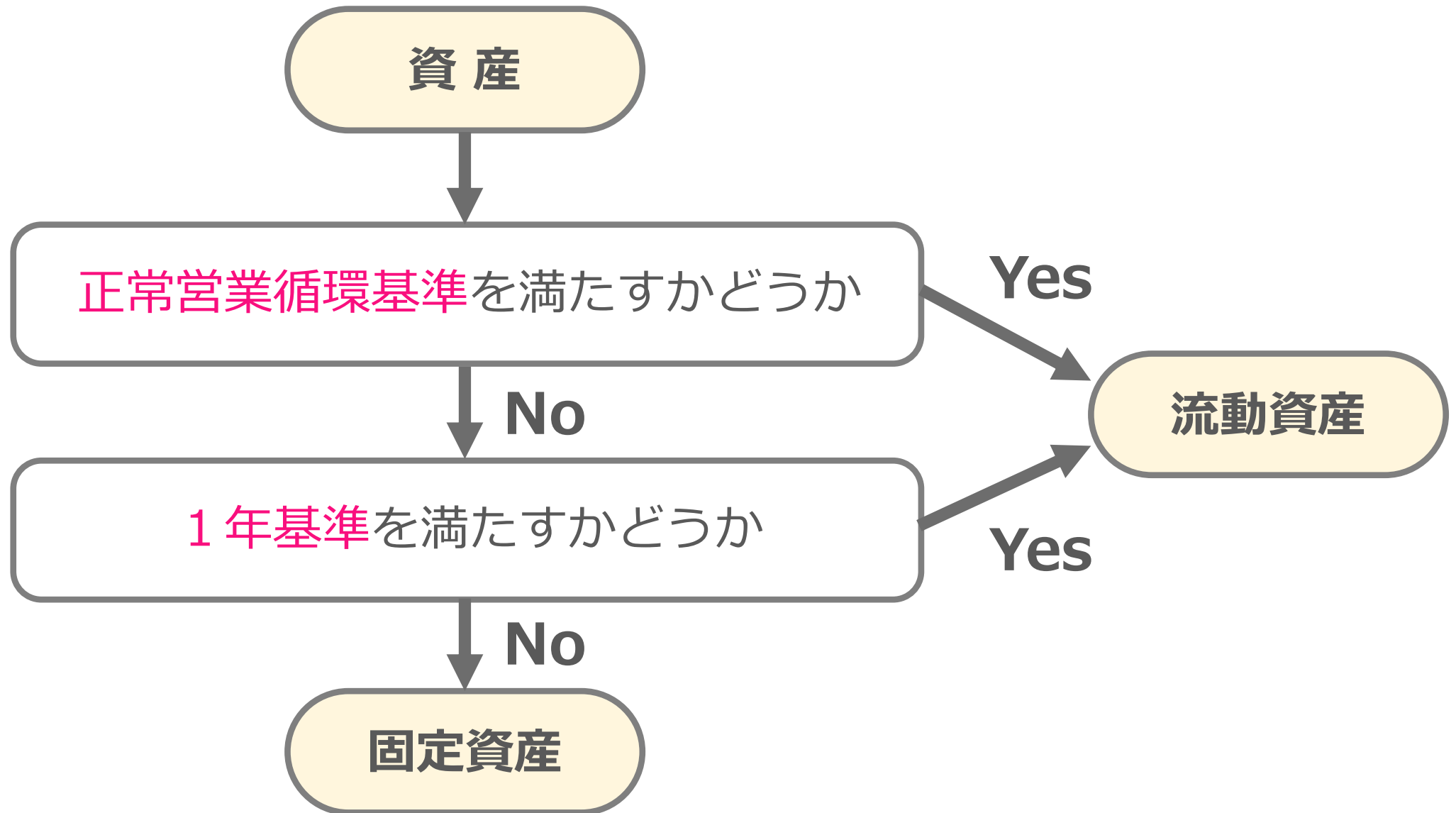
- 9 貸借対照表とは何か (p.54)
- 10 資産①—流動資産と固定資産 (p.58)
- 11 資産②—固定資産の3区分と繰延資産 (p.65)
- 12 負債 (p.71)
- 13 資産と負債の評価 (p.75)
- 14 純資産 (p.81)

# 1 貸借対照表とは何か

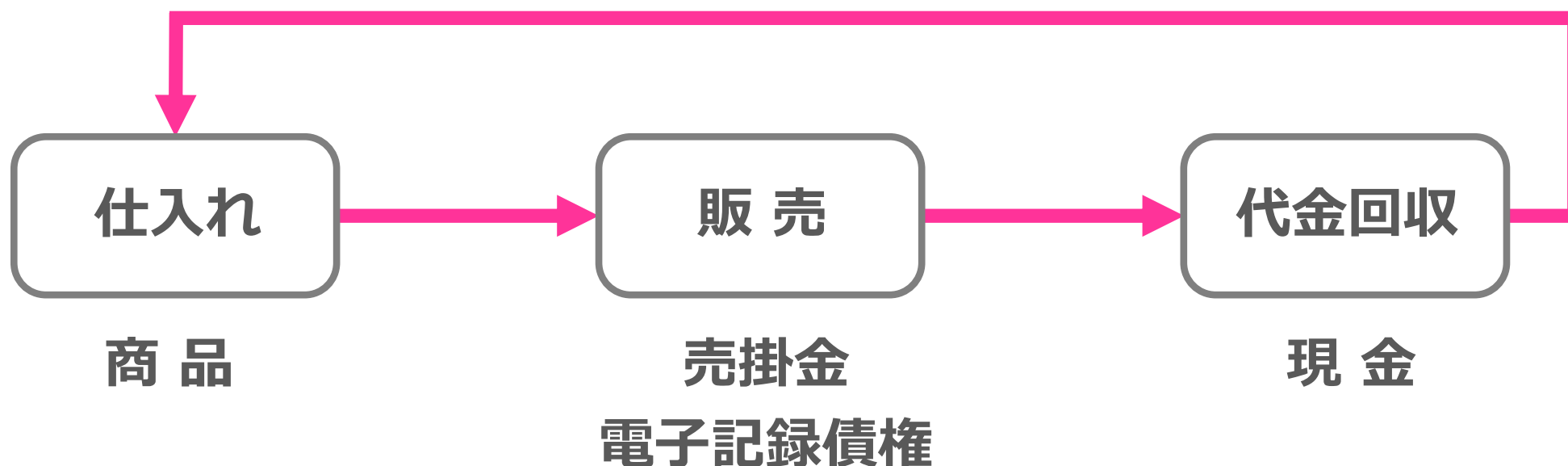
貸借対照表は、ある企業のある一定時点における資産、負債、純資産で測定した、財政状態を明らかにする計算書

|     |                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 資産  | 過去の取引または事象の結果として、企業が支配している経済的資源<br>→企業が保有しているもの<br>ex. 現金、土地、建物、取引先から代金を回収する権利          |
| 負債  | 過去の取引または事象の結果として、企業が支配している経済的資源を放棄もしくは引き渡す義務<br>→何かを引き渡さなくてはならない義務<br>ex. 借入金、取引先への支払義務 |
| 純資産 | 資産と負債の差額<br>ex. 株主からの出資、過去から現在までに獲得した利益                                                 |

# 1 資産の部における2区分



## 2 正常営業循環基準とは何か



企業の営業取引により、**営業活動の一連の流れ**に含まれる資産には、正常営業循環基準が適用され、流動資産とされる

# 3 無形固定資産

## ● のれん

A社は、150百万円を支払い、B社の株式100%のM&Aを行った。  
B社の資産（時価）は200百万円、負債（時価）は100百万円、  
純資産（時価）は100百万円であったとする。

B社の貸借対照表（単位：百万円）

|            |            |        |                |
|------------|------------|--------|----------------|
| 資 産<br>200 | 負 債<br>100 | のれん 50 | 150百万円<br>の支払い |
|            | 純資産<br>100 |        |                |

# 1 負債の部における2区分

貸借対照表

|     |      |
|-----|------|
| 資 産 | 流動負債 |
|     | 固定負債 |
|     | 純資産  |

正常営業循環基準  
1 年基準

## 2 正常営業循環基準とは何か



### 買掛金

商品や材料を仕入れるのと同時に支払いを行うのではなく、後日支払いを行うことを約束した場合に発生するツケ

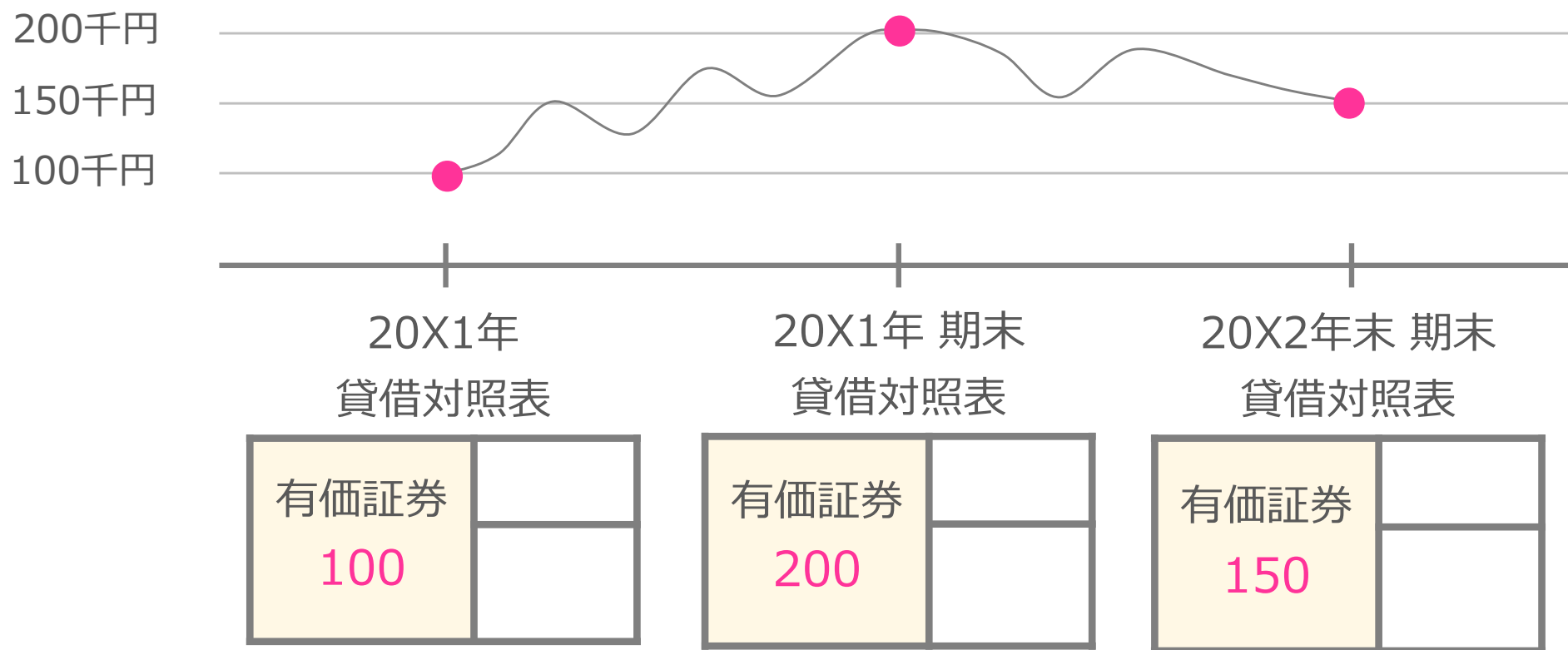
### 電子記録 債務

買掛金などの金銭債務を電子化したもので、電子データなので紛失や盗難といったリスクが低く、債務の取引をオンラインで効率的に行うことができる

# 1 資産の評価

- **時価** … その資産のある時点における公正な評価額

売買目的有価証券の金額



その時点の有価証券の金額を、貸借対照表上に時価として表示

# 2 取得原価

- 商品評価損 … 商品の正味売却価額が帳簿価額よりも低い場合に生じる差額

ex. 帳簿価額1,000千円の商品について、  
正味売却価額を確認したところ、800千円であった。

帳簿棚卸  
(帳簿上の金額を確認)

貸借対照表

|         |  |
|---------|--|
| 商 品     |  |
| 1,000千円 |  |

商品評価損

200千円



実地棚卸  
(実際の正味売却価額を確認)

貸借対照表

|       |  |
|-------|--|
| 商 品   |  |
| 800千円 |  |

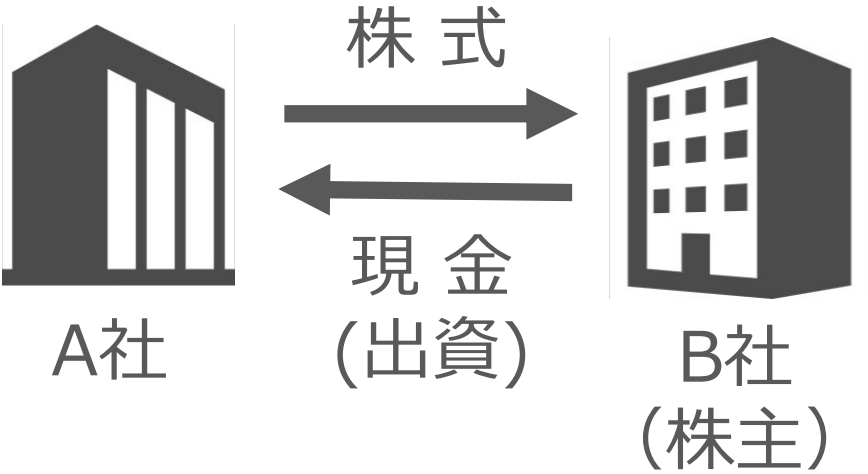
# 2 株主資本

● 資本金 … 株主から払い込まれた金額

A社が、株式を1,000円で1,000株発行し、  
株主から現金1,000,000円の出資を受けた。

A社 貸借対照表

| 資 産             | 負 債           |
|-----------------|---------------|
|                 | 株主資本          |
|                 | 資本金 1,000,000 |
|                 | 評価・換算差額等      |
|                 | 株式引受権         |
| 現金<br>1,000,000 | 新株予約権         |



本節では、資産と負債の差額である  
純資産の部について学習しました

- 純資産の部（個別貸借対照表）における4区分について、理解できましたか。
- 純資産の部（連結貸借対照表）における非支配株主持分という区分について、理解できましたか。
- 純資産の部に含まれる項目について、理解できましたか。